

# 西川町 議会だより

2023

No.125

7  
.14



第3回臨時会.....	2頁
第2回定例会.....	4
<b>10人の議員</b> が町政をただす.....	6
第3セクターの経営状況報告.....	17
特集「 <b>新議会</b> 」に望む.....	18
知りたい！聞きたい！.....	20



「なんだろうな？」

写真は、6月12日(月)の西川小学校2年生による沼山・入間楽行(がっこう)のひとコマです。  
(関連記事はP20をご覧ください。)



※上記二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

令和5年5月10日からの委員会等の新しい構成を紹介します。常任委員会と議会運営委員会の任期は令和7年4月30日までです。



佐藤 光康 議員



大泉 奈美 議員



佐藤 耕二 議員



古澤 俊一 議員



菅野 邦比克 議員



佐藤 大 議員



飯野 幹夫 議員



後藤 一夫 議員



荒木 俊夫 議員



佐藤 仁 議員

総務課、つなぐ課、企画財政課、町民税務課、健康福祉課、町立病院及び教育委員会等に関する事務事業を所管します。

- 総務厚生 常任委員会**
- 委員長 荒木 俊夫
  - 副委員長 後藤 一夫
  - 委員 菅野 邦比克
  - 委員 佐藤 光康
  - 委員 佐藤 大

議会を円滑に運営するため、次のような事項を担当します。  
・議会の運営に関する事項  
・議会の会議規則、委員会条例等に関する事項  
・議長の諮問に関する事項

- 議会運営委員会**
- 委員長 古澤 俊一
  - 副委員長 佐藤 光康
  - 委員 荒木 俊夫
  - 委員 佐藤 仁

議会の活動を町民の皆さんへ紹介すると共に、ご質問やご意見を聞き、お答えする仕事を担当します。

- 広報公聴 常任委員会**
- 委員長 佐藤 光康
  - 副委員長 飯野 幹夫
  - 委員 荒木 俊夫
  - 委員 後藤 一夫
  - 委員 佐藤 大

みどり共創課、商工観光課、建設水道課、農業委員会に関する事務事業を所管します。

- 産業建設 常任委員会**
- 委員長 佐藤 仁
  - 副委員長 大泉 奈美
  - 委員 古澤 俊一
  - 委員 佐藤 耕二
  - 委員 飯野 幹夫

**その他**

- 西村山広域行政 事務組合議会議員 菅野 邦比克 佐藤 耕二 後藤 一夫 ※令和7年4月30日まで
- 西川町林業活性化議員連盟 会長 菅野 邦比克 副会長 大泉 奈美 幹事長 佐藤 仁 幹事 佐藤 光康 幹事 後藤 一夫 幹事 佐藤 大 監事 荒木 俊夫 ※令和7年4月30日まで
- 西川町町有林運営委員会委員 (議会選出委員) 菅野 邦比克 大泉 奈美 佐藤 仁 飯野 幹夫 ※令和9年4月30日まで
- 西川町道路整備促進協議会 (議会選出委員) 菅野 邦比克 大泉 奈美 佐藤 仁 荒木 俊夫 ※令和7年3月31日まで

# コロナ禍を越え 新しい時代へ

令和5年 第3回 臨時議会

4月に行われた町議会議員選挙後の初議会が、5月10日に開かれました。改選後初の議会であり、議長と副議長の選挙が行われ、議長に菅野邦比克議員、副議長に大泉奈美議員が当選しました。また、議会運営委員会や各常任委員会の委員を選出し、議会の新たな構成が決まりました。長く、困難を伴ってきたコロナ禍が収束しようとしていることから、ときに誕生した新「西川町議会」として、議会の存在意義を確かめ、町と共に町政運営の両輪を担う決意を新たにしました。

## 「開かれた議会とは何か」をテーマに 町民と対話し信頼される議会に

議長 菅野 邦比克

皆さまにおかれましては、日頃より議会活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。議会ではコロナ禍で活動が制限されてきましたが、5月に制限が解除されたことに伴い、今後は活動を一層活性化していきます。

これまででは、議会中継も直ちに見られず、録画中継も1週間位かかっておりましたが、第3回臨時議会からYouTubeに変更し、録画中継も直ちにみられるように変更にしました。議会の情報をいち早くお届けすることさらに議論を深め、町民の皆さまから一層信頼される議会を目指していきます。今後とも町民の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



**議長・副議長選挙の結果**

- ☆議長選挙
- 当選 菅野 邦比克 5票
  - 佐藤 耕二 5票
- ※得票同数のため、くじ引きにより菅野邦比克議員が当選
- ☆任期は令和5年5月10日から令和9年4月30日まで

**☆副議長選挙**

- 当選 大泉 奈美 5票
  - 佐藤 光康 4票
  - 佐藤 耕二 1票
- ※任期は令和5年5月10日から令和7年4月30日まで

**常任委員会委員等の選任**

常任委員会と議会運営委員会の委員は議長の指名により選任されました。 ※その他の委員等も含め、それぞれ次ページのとおり決定しました。

**人事案件**

☆議会選出監査委員の選任の同意  
荒木 俊夫 (全員賛成)  
※任期は令和5年5月10日から令和9年4月30日まで

**専決処分承認**

☆西川町町税条例等の一部を改正する条例の制定  
令和5年度税制改正に伴い、町税条例の一部を改正する条例の制定について専決処分したので、承認を求めます。  
(全員賛成)

☆西川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定  
課税限度額の改正及び規定の整備を図るため、国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について専決処分したので、承認を求めます。  
(全員賛成)

☆西川町過疎地域固定資産税課税免除条例の一部を改正する条例の制定  
規定の整備を図るため、過疎地域固定資産税課税免除条例の一部を改正する条例の制定について専決処分したので、承認を求めます。  
(全員賛成)

# 令和5年第2回定例会に提出された主な議案

【一般議案、条例案等】

議案番号	件名	議案の主な内容
議第38号	財産（路線バス車両）の購入	路線バスを1台購入する。
議第39号	財産（スクールバス）の購入	スクールバスを1台購入する。
議第40号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類感染症に引き下げられたことに伴い、職員の特務手当の特例を廃止する。
議第41号	定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定	登記により地番が設定されたため規定の整備を図る。
議第44号	令和5年度4災7251号町道濁又線道路災害復旧工事請負契約の締結	令和5年度4災町道濁又線道路災害復旧工事について請負契約を締結する。
請願第1号	「免税軽油制度の継続を求める請願書」⇒ 全員賛成で採択 意見書として提出	
請願第2号	「食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願」⇒ 全員賛成で採択 意見書として提出	

ここに注目!  
4ページを参照

## 【令和5年度各会計補正予算】

議案番号	会計	補正の主な内容（▲印は減額）	補正額	補正後の予算額
議第42号	一般会計（第2号）	共聴施設ネットワーク強靱化支援事業補助金 1000万円 地域おこし協力隊インターン活用委託料 761万円 戸籍総合システム機器更新業務委託料 1650万円 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業 1745万円 子育て世帯生活支援特別給付事業 213万円 町特産品PR事業 748万円 産業振興複合施設整備事業 2億1190万円 サテライトスクール事業 1015万円 上記以外 7992万円	3億6314万円	71億4827万円
議第43号	介護保険特別会計（第1号）	第9期西川町介護保険事業計画策定業務委託の一部変更 19万円	19万円	7億6971万円

（万円単位表示にするため千円以下の端数を調整）

ここに注目!  
4ページを参照

ここに注目!  
4ページを参照

### 国に意見書提出

#### 【発議第3号】

「免税軽油制度の継続を求める請願書」を全員賛成で採択し、意見書として提出することを決定しました。

#### 【意見書の要旨】

免税軽油制度は、令和3年度地方税法改正附則によって「令和6年3月31日までは、課税しない」となっており、この制度の継続を求める。

#### 【発議第4号】

「食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願」を全員賛成で採択し、意見書として提出することを決定しました。

#### 【意見書の要旨】

将来にわたり国民へ安定的に食料を供給していくために、基本法の見直しに際し、多様な担い手を基本法に位置付けると共に、直接支払制度の見直しや新たな直接支払制度の導入を含めた施策全般にわたる見直しを行うことを求める。

# 進むべき町の道すじは

令和5年  
第2回  
定例会

## 町民のニーズに応じて 産業振興複合施設が来年3月完成予定



※官民連携・官民創生による課題解決や関係人口の創出や拡大を目指すための活動拠点

▲産業振興複合施設イメージ

令和5年第2回定例会が6月3日から9日までの7日の会期で開催されました。町からは一般議案3件、条例案2件、各会計補正予算案2件、議員からは規則案1件が提出され、慎重に審議した結果、全議案を可決しました。一般質問は10人の全議員が17件について行いました。また、請願は2件を採択の上、議員発議にて意見書の提出を可決しました。

今定例会における主な議案の詳細及び、議案に関する質疑の内容の一部を紹介します。

### ここに注目!

#### スクールバスの更新

**問** 運行管理者からは、他の車両も老朽化が進んでいると伺いました。更新の年次計画はありますか。

**答** 開校当時に導入した車両を、3年間に1台ずつ更新しました。今後も現状を確認し、対応していきます。

#### 共聴施設ネットワーク強靱化支援事業補助金

**問** 吉川テレビ共同受信組合の同軸ケーブルを、なぜ光ケーブルにするのですか。

**答** 災害時の強化のためにするものであり、共聴施設ネットワーク強靱化支援事業補助金を活用し、光ケーブルに変更するものです。

#### 子育て世帯臨時給付金

**問** 給付金は1人あたり5万円となっておりますが、対象年齢はどうなっていますか。

**答** 対象年齢は、0歳～18歳です。

#### 地域おこし協力隊インターン

**問** インターンの方は何人で、どんな活動を行うのですか。活動中の事故等の対応はどのようになっていますか。

**答** 当初予定は150人分でしたが784人分まで補正予算により増加します。6月から9月までに5回に分けて、困っている方やイベント・行事のお手伝いをします。具体的には、農家の収穫作業や草刈り、家庭の庭の手入れ、他に、町や地域主催の事業のお手伝いです。事故等に備えて、保険に加入しています。  
※利用される方は無料で、インターンの方には町から会社を通じて手当が支払われています。

# 一般質問

# そこが聞きたい

## 10人の議員が町政をたずねます

町政全般にわたり、その課題等について町の考え方や疑問をたずねるのが一般質問です。今回の第2回定例会では議長も含めて10人全員の議員が質問しました。質問と答弁の内容を要約してお伝えします。

### 質問事項 (発言順)

- 荒木 俊夫 議員 ..... P7
  - 1 新型コロナウイルス感染症と带状疱疹予防対策について
  - 2 就労と起業対策について
- 佐藤 仁 議員 ..... P8
  - 1 ポストコロナをふまえ今後の町立病院の運営について
- 佐藤 耕二 議員 ..... P9
  - 1 月山スキー場のリフトの老朽化について
  - 2 小水力発電と太陽光パネル電力の活用方法は
- 菅野 邦比克 議員 ..... P10
  - 1 今後の住宅地の不足及び賃貸住宅の整備方針について
  - 2 ケーシーフレーム株式会社の自己破産申請後の対応について
- 佐藤 光康 議員 ..... P11
  - 1 町の業者の支援について
- 飯野 幹夫 議員 ..... P12
  - 1 脱炭素に対する西川町の取組みについて
  - 2 町道の維持管理について
- 大泉 奈美 議員 ..... P13
  - 1 西川町の子育て事業をどう活かすか
  - 2 産業振興複合施設の建設について
- 佐藤 大 議員 ..... P14
  - 1 寒河江ダム周辺施設について
- 後藤 一夫 議員 ..... P15
  - 1 文化財及び伝統行事の対応について
  - 2 令和5年度における新たな施策の進捗状況等について
- 古澤 俊一 議員 ..... P16
  - 1 これまでの実績をふまえた中間的な展望について
  - 2 高齢化における地域維持への対応について

※第2回定例会の傍聴者は延べ59人、YouTubeでの視聴者は延べ3,000人でした。ご覧いただいた皆さん、ありがとうございました！  
(令和5年6月末時点)

### 町 新型コロナウイルス感染症と带状疱疹予防対策は考えていません

安心して生活していくために、新型コロナウイルス感染症対策と带状疱疹予防ワクチン接種費用助成対策について質問します。



※質問者の動画が見られます。



荒木 俊夫 議員

#### 新型コロナウイルス

**問** 5類へ移行した新型コロナウイルスへの対応はどのようになりますか。

**答** 相談業務は保健センター、ワクチン接種は保健センターと病院、PCR検査・外来・入院(専用病床)は病院で対応いたします。

**問** ワクチン接種の予定はどのようになりますか。

**答** 相談業務は保健センター、ワクチン接種は保健センターと病院、PCR検査・外来・入院(専用病床)は病院で対応いたします。

#### 带状疱疹

**問** 日本人成人の90%が原因となるウイルスを持っており、80歳までに3人に1人が带状疱疹を発症するといわれています。50歳以上の予防効果が97%、発症後の神経症予防効果が100%の予防ワクチン接種費用に助成してはいかがでしょうか。

**答** 助成は考えていません。

**問** 予防ワクチンは、2回接種で4万4000円程度と高価です。発症の痛みや後遺症から町民を守るために助成すべきではないですか。

**答** 保健センターと病院で検討しますが、公平性の観点とニーズを踏まえて考えます。

**問** PCR検査の費用はどのようになりますか。

**答** 保険診療では保険の負担割合での負担となり、自由診療では1万5000円程度の負担になります。



▲ワクチン接種待合室

### 就労対策と起業対策は

町 十分な支援を行います

#### 就労対策

**問** 雇用確保対策助成事業の状況はどのようになっていますか。

**答** 昨年度町内の新規学卒者について雇用した事業主が1社(1人10万円)・町内に就職した方が2人(1人10万円)・町外に就職した方が3人(1人3万円)・町外者で町内に就職した方が2人(1人3万円)でした。

#### 起業支援

**問** 起業される方への支援の状況はどうなっていますか。

**答** 補助金150万円と業務や経営支援などの伴走支援を行っています。今回、9件分1350万円の補助金を補正いたしました。

住んでいたいまちづくりの就労対策と起業対策について質問します。



佐藤 仁 議員



※質問者の動画が見られます。

## ポストコロナをふまえ 今後の町立病院の運営は

### 町 患者さんに寄り添った 地域と共に歩む病院を目指す

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、5月8日から季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、3年余りに及んだコロナ禍の転換点を迎えたことをふまえ質問いたします。

**問** 今後の外来診療は  
ある方は受診前に病院に電話をし、病院の指示を受けてから通院し、陰性ハウスのなどで診療を受けていたが、5類移行後の診療体制はどうなっていますか。

**答** これまで同様事前でからの診察となり、病院スタッフの方は防護服を着用しての対応とし、インフルエンザも含め医師の判断のもと、PCR検査または抗原検査を行い診察に当たります。

### 患者さんとの面会

**問** コロナ禍においてリモートでの面会でしたが、現在は予約制で平日午後2時から4時まで週一回2人まで対面による面会が可能になりました。今後さらに緩和する考えはありませんか。



▲町立病院

**答** 面会をリモートから対面に緩和したわけですが、当面は平日のみとさせていただきます。また、患者や家族の方の心のケアを考えた場合、直接会い触れ合うことが大切だと思いますが、平日来られない方や家族が多い方のためにも土・日・祝日の面会が必要と思いますが、どうお考えでしょうか。

**答** 土・日・祝日は病院スタッフも少なくなりますが、感染対策も含め丁寧な対応が難しい面もあります。当面は平日のみとさせていただきます。

## 10人の一般質問

### 接遇面の向上は

**問** コロナ禍を経験し良かった点や問題点を整理し、接遇面の向上を図っていく必要があると思います。どのようにお考えでしょうか。

**答** 病院の方には知識の習得やスキルアップを図り地域医療を守るといふ志のもと、対応していただきました。ただ患者さんや家族の方にもっと寄り添った対応も必要かと思っておりますので、今後は接遇研修などを行い、優しく丁寧な対応を心掛け、地域と共に歩む病院を目指していきます。

### 情報の発信を

**問** 町立病院では検査機器が充実しておりますが、他の医療機関と画像データなどのやり取りがスムーズに行えることから、かかりつけ医を変えても心配ないと思

ます。かかりつけ医として利用してもらえよう広報をしてはどうですか。

**答** 検査機器の充実が当院の強みでもありますので、かかりつけ医として利用していただけるよう広報していきたいと思

**問** 今後の接遇を含め問題は改善を行い、良い点はさらに高みを目指し、町内外から親しまれ、信頼される病院としてスタッフと町民が一体となつて病院を維持し、守っていくという情報発信も必要と思いますが、どうお考えですか。

**答** 優良な機械設備を含め、町立病院の特徴をお示しできるような面白く、工夫を凝らしながら町報で広報していきます。また、町外からも来院していたり、繋がりや人脈を使って真剣に取り組んでいきます。

## 月山スキー場の リフトの老朽化は 町 町全体の議論が必要

月山スキー場のペアリフトは、昭和63年にリフトを架け替えてから35年が経過し、索道設備の老朽化が目立ってきました。運営している月山観光開発株式会社は半官半民の会社ですが、町の観光行政のためにも町の支援が必要と思

### 補助事業

**問** 索道設備を更新する場合、国の補助事業はあるのですか。

**答** 最初に観光庁のスノーリゾート事業があります。高補助で、現在要件緩和を要望しています。2つ目も観光庁の高付加価値事業で2/3の補助です。観光施設の上限は2000万円。月山観光開発株式会社が受けることと予想されます。

3つ目はデジタル田園都市国家構想の補助金で民間間接支援型ですが、株式の50%を超える企業で町が申請する必要があります。しかし公平性の問題があり、町全体の議論が必要と認識しています。

### 対話会

**問** スキー場リフトの重要性をどのように考えていますか。また対話会を開催しては

どうですか。

**答** スキー客は年々減少し、観光リスクを回避するために、若者を対象に新しいツーリズム事業を展開しています。ペアリフトは重要な施設と認識しています。対話会をまずはペアリフトを所有する会社を実施していただきたい。そのうえで町が主体的に対応する立場になったら、商工会等全体をまきこんだ議論をしていきたいと思

### 新たなリフト

**問** 姥沢駐車場から下駅までに新たなリフトを設置する必要はありませんか。

**答** いままで町に新設してほしいとの要望はありません。町がリフトを新設するのは多額の事業となり、また民間の会社の利益になるので現実的には難しいです。

## 小水力発電と 太陽光パネル電力の活用は

### 町 蓄電や施設の電力に活用、 基金にも充てている



▲月山ペアリフト

の積立額はいくらか。

**答** 基金以外は、道の駅にしかわと大井沢温泉館の電気料に使用しており、全体の9%に充てられます。基金は4年度末で670万9022円です。

**問** 役場庁舎や水沢温泉館は蓄電のみの使い方ですか。施設の電気にも活用できませんか。

**答** 発電した電力は蓄電のほかに、それぞれ施設の電気にも直接使っています。



▶水沢温泉館の太陽光パネル

**問** 大井沢小水力発電の発電料は、基金に積み立てている以外に、どんな使い方をしていますか。また基金



※質問者の動画が見られます。



佐藤 耕二 議員

月山スキー場のペアリフトは、昭和63年にリフトを架け替えてから35年が経過し、索道設備の老朽化が目立ってきました。運営している月山観光開発株式会社は半官半民の会社ですが、町の観光行政のためにも町の支援が必要と思

問します。

## 10人の一般質問



菅野 邦比克 議員



※質問者の動画が見られます。

## 今後の住宅政策は

### 町 移住サポートセンターで検討 今後は魅力あるアパート建設を

最近の交流人口や関係人口の拡大で、西川町に住みたい方が増えつつあります。今後の整備方針について質問します。

**問** 今後の賃貸アパートのWiFi環境整備方針はどうお考えですか。

**答** 今までは整備してきませんでしたが、今後建設するアパートにはWiFiを整備していきます。

**問** 今回抽選にもれた方へは、どう対応していきますか。

**答** 今回もれた方には、今年度建設するアパートに優先的に対応し、西川町へ住んでいただけるようにしていきます。

**問** 今後の賃貸アパートのWiFi環境整備方針はどうお考えですか。

**問** お試し住宅の利用状況と今後の建設予定はあるのでしょうか。

**答** 現在は陸合のコーポに併設してお試し住宅があります。3室のうち1室が利用可能です。令和4年度の利用はありませんでした。

**問** 一戸建て住宅建設については、予定地の確保と財源の確保ができていません。今夏まで空き家を改修し、お試し住宅として提供できるように進めています。



◀町営住宅建設予定地

## ケーシーフレーム株式会社の自己破産申請後の旧西部中体育館対応は

### 町 買主が現れない場合に限り、町への無償譲渡を検討する

令和5年5月18日にケーシーフレーム株式会社の自己破産申請について、山形地方裁判所において財産状況報告などの集会が開催されました。今後の対応について質問いたします。

**問** 管財人から取引の申し入れがあった場合どう対処する方針ですか。

**答** 無償譲渡を受けましたら、水沢地区の要望もお聞きしながら対処していきます。

**問** 契約書では解体して返す条件になっていますが、現在の状況はどうなっていますか。

**答** 管財人からは、現在は土地と建物の所有者は異なっており、競売で買主が現れない場合に限り西川町へ無償譲渡を検討することが示されました。



▶旧西部中体育館

## 町の業者の支援は

### 町 地元の業者を大事にしていきたい

コロナ禍を乗り越えて、町内の業者の皆さんは頑張っています。町の支援は欠かせません。町の業者支援について質問します。

## プレミアム付商品券

**問** 町は業者を支援して、町内の経済が回るように、プレミアム付商品券発行支援事業を行なってきましたが、物価高騰で大変な町民のためにも、今年度実施する予定はありませんか。

**答** 昨年、高齢者しか住まない650世帯にヒアリングをした結果、「プレミアム付商品券はお金のある人が買うんだ」とか、「それだったら町内にある事業所で使える商品券の方がいい」という意見が多くありました。商工会の方も反対していますので実施する予定はありません。

## 民間業者のアパート建設

**問** 先日、町の職員が戸沢村に視察に行きました。どのような目的で行ったのですか。

**答** 町内の人口が増える勢いが出てきていますが、移住者を受け入れる施設が町内にはありません。空き家バンクの物件も東部地区では少なくなっている状況です。町内の移住者の住宅が足りない状況で、町に住宅を建てたいという事業者も来ていましたので、建てた住宅を見に行ったということです。

## 大手ハウスメーカーがアパートを建設した場合、町の木材を使ったり、町内のいろいろな業者が参加できますか。

**答** 民間事業者の事業ですので、町が関与することはありません。

**問** 町は、公共事業はできるだけ町内の業者をお願いするとうふうにしてきました。この基本方針は堅持するのですか。

**答** もちろん、堅持します。ですが、例えば、入札の金額で4億円を超える住宅の建設にあたるための入札の資格を、町の業者は取っていません。そういうところ以外は、町の業者のことを考えています。

## 志津温泉の公的施設

**問** 志津温泉で開かれた雪旅籠では公衆トイレがないことが問題になりました。また、志津の避難場所が弓張平の体育館になっていて、「災害時にそこまで行けるのか」との、心配の声があります。町は、公的な施設の建設を急ぐ考えはありませんか。

**答** 地元で取りまとめますので、ニーズベイスで考えます。一部に消防施設や避難所という声がありました。が、地元の要望がない状況ではできません。まだ、終着までには時間がかかる状況です。補助金の算段は私が頑張りますが、ニーズがあつてこそです。



※質問者の動画が見られます。



佐藤 光康 議員



飯野 幹夫 議員



※質問者の動画が見られます。

## 脱炭素に対する西川町の取組みは

### 町 前向きな取組みをするために みどり共創課を新設

磐梯朝日山国立公園の自然豊かな素晴らしい環境を有する西川町においても異常気象による温暖化・一極集中した雨の降り方、台風・突風による被害は年々過大化していることから、次のことについて質問します。

**問** 山形県は「ゼロカーボン2050」を宣言していますが、西川町での数値目標設定をどのように考えていますか。

**答** 西川町は90%以上が森林であり、二酸化炭素の吸収量が多いので、それを数値化する必要はあると考えています。

**問** 西川町教育ローン帰ってきてゼロローンについてどう考えていますか。

**答** 西川町民限定の商品で財源の負担はありますが、覚悟をもって町の未来を担う世代への投資と考えています。保護者の経済的負担軽減、町民との対話会での意見を聞いて500万円に設定しました。利用にあたって第7次総合計画(案)の重要政策について、目標達成のための指数を設定しました。累計15人以上の生産年齢人口増加です。できるだけ早く町民と多様な取組みについて協働し、町外の方から共感を持っていただける町となり、令和12年度の実年齢人口増加の一助になればと思っています。

**問** 次世代自動車EV、PHEVのインフラ整備を町はどう考えますか。また、その普及のために町でも購入支援してはいかがですか。

**答** 脱炭素取組みは西川町の宣伝になると考えています。公共施設への追加設置を前向きに考えます。また、その後7月22日に開催する「SEA TOSUMMIT」でニーズを把握します。



道の駅にしかわにある急速充電器

**問** ナラ枯れ倒木が崩落する危険性があり、冬季の雪崩時期には夜間通行止めとなります。不慣れた生活環境の対策はどうなっていますか。

**答** 4〜5軒の集落でも重要な道路と認識してあります。雪崩は命の危険となると認識してあります。担当となる建設水道課・みどり共創課で調整し要望をまとめます。

**問** 最も危険である町道は、水沢・岩根沢線の水沢〜小沼間であると認識したため質問します。

### 町道の安全対策

## 町道の維持管理は 保安林を管理する県に 強く要望していく

### 緊急用携帯電話

**問** 災害発生及び緊急な危機管理対応時の連絡は、職員個人の携帯電話対応となっておりますが、関わる担当部署への公用携帯を配備してはいかがですか。

**答** 職員との1on1ミーティングでも要望があり、少なくとも緊急発生時に二次配備に就く総務課、みどり共創課、建設水道課にできるだけ早く配備します。



▲町道上部のナラ枯れ

**問** 衛星ライトスクールの具体的な内容と関係人口とどう結び付きますか。

**答** 今年度は夏と秋に一週間から10日間、計140人規模で開催予定です。神奈川県国際小学校の就学児童と保護者の方に一週間から10日間、志津温泉に滞在していただき学校の授業や保護者の仕事はオンラインで行い、特別授業として、メニューがき、紙すき、カヌーなどの体験学習、交流の場もあります。

**問** 西川町の小学生にとってどのような効果がありますか。

**答** 西川町ならではの体験をしていただき、第二のふるさとづくり、西川ファンを取り込むことで、関係人口に繋がる事業になると考えています。

## 産業振興複合施設の建設は

### 町 安全対策には 十分配慮します

**問** 建物の構造など全体的な雪対策はどうなっていますか。

**答** 46年前からの降雪データを集め、利用者との声と雪対策の絶妙なバランスに合わせ基本設計を行いました。

**問** 施設の管理、運営は誰が行いますか。

**答** 施設運営は民間の指定管理をめざしています。

**問** 町民提案型の建物ですが、経過、進捗状況はどうなっていますか。

**答** 昨年10月から5回、延べ150人を超える方とワークショップを行い、まとめもを行いました。7月末まで設計を終えて9月頃に施工業者を決定し来年3月まで完成できればと考えています。



大泉 奈美 議員



※質問者の動画が見られます。

本町は子どもたちを町の宝としています。令和5年度の基本目標別主要事業では、子育ての希望をかなえ、この地域ならではの学びを保障する西川町をつくるとしています。このことをふまえ質問します。

## 西川町の子育て事業を どう活かすか 町 8年後の生産人口増加の 奇跡の苗床にしたい と考えています

### 帰ってきてゼロローン

**問** 西川町教育ローン帰ってきてゼロローンについてどう考えていますか。

**答** 西川町民限定の商品で財源の負担はありますが、覚悟をもって町の未来を担う世代への投資と考えています。保護者の経済的負担軽減、町民との対話会での意見を聞いて500万円に設定しました。利用にあたって第7次総合計画(案)の重要政策について、目標達成のための指数を設定しました。累計15人以上の生産年齢人口増加です。できるだけ早く町民と多様な取組みについて協働し、町外の方から共感を持っていただける町となり、令和12年度の実年齢人口増加の一助になればと思っています。

### サテライトスクール

**問** サテライトスクール、保育園留学などの具体的な内容と関係人口とどう結び付きますか。

**答** 今年度は夏と秋に一週間から10日間、計140人規模で開催予定です。神奈川県国際小学校の就学児童と保護者の方に一週間から10日間、志津温泉に滞在していただき学校の授業や保護者の仕事はオンラインで行い、特別授業として、メニューがき、紙すき、カヌーなどの体験学習、交流の場もあります。

**問** 地域の良さを再認識、意識を向上させるために外部との交流が必要なのではないかと思っています。

**答** 地域の良さを再認識、意識を向上させるために外部との交流が必要なのではないかと思っています。



佐藤 大 議員

### 寒河江ダムの周辺施設の状況は

**町** 水の文化館の改修工事を今年度実施いたします



※質問者の動画が見られます。

水の文化館の再利用など、寒河江ダムの周辺施設に関してのことについて質問します。

**水の文化館**  
**問** 水の文化館と付帯するトイレの改修工事の概要はどうなっていますか。

**答** デジタル田園都市国家構想交付金を活用して、年度内の完成を目指して工事を行います。Wifi環境のあるサテライトオフィス・コワーキングスペースを設け、実効性の高い賑わいのある拠点をつくりたいです。また、民間2社が参入して営業する予定です。トイレの改修工事も併せて行います。

**問** 水の文化館は通年営業を考えているのでしょうか。

**答** 参入予定業者からは通年営業の申し入れがありました。冬場の状況を見てもらったところ、難しいとの見解でしたので今のところ、通年営業は現実的ではありません。

**問** 飲食関係のスペースはあるのですか。

**答** 参入予定2社からの事業内容では、各社とも飲食の提供を考えています。

**問** 施設の水道は、夏場の忙しい時期に湧水する時がありましたが、給水車に対応した時もありましたので、水量の確保が必要ではありませんか。

**答** 春に水源地のタンクの清掃や送水管に空気弁を取り付けて対応しています。



▶月山湖水の文化館

### 日本一の大噴水

**問** 日本一の大噴水の大規模メンテナンスを、設置から15年ほどで行いましたが、その後実施されておりません。今後の大規模メンテナンスはどのようにお考えですか。

**答** 適切なメンテナンスを続けており、これまでに支障がありませんでしたので、大規模なメンテナンスは考えていません。

### 大噴水看板の改善

**問** 日本一の大噴水の看板が、かなり老朽化しています。リニューアルするお考えはありませんか。

**答** 看板のリニューアルに関する組織を立ち上げて検討しています。看板をどのように町全体として設置していくのか、デジタルサイネージを取り入れるかなど、大噴水の看板も含めて計画的に検討しています。



▶月山湖大噴水の看板

### 文化財及び伝統行事の対応は

**町** 町の貴重な財産であり大切に保存します

西川町が保有する文化財、そして伝統文化をどのように捉え、保存、活用していくのか、質問します。

### 文化財の保存、活用

**問** 西川町が保有する豊富な文化財をどう捉え、保存、活用していきますか。

**答** 文化財は町の歴史、文化の貴重な証拠であり、大切に保存し、後世に伝えていきます。

### 三山電車の修繕

**問** 三山電車「モハ103」の修繕に対し、どう対応していきますか。

**答** クラウドファンディングによる有志の取り組みは、町として個人としても応援していきます。

### 菊まつりの対応

**問** 西川菊まつりに町が支援するための条件は、何でしょうか。

**答** 実施団体が持続可能な組織であることが一つの条件です。

### 町が推進している主要事業は

**町** 4事業を主要事業と位置づけ推進しています



▲三山電車「モハ103」

### 主要事業の展開

**問** 主要事業として積極的に推進している事業の実施状況等は、どうなっていますか。

**答** AI謎解きゲーム、水沢温泉館とサウナ月山、デジタル住民票、ONSENガストロノミーの4事業を主要事業と捉え、これからの交流人口、関係人口を拡大させる事業として推進しています。

### 新たな施策

**問** 交流人口、関係人口の拡大を図るための、新たな施策の計画についてどうお考えですか。

**答** 関係人口を西川ファンにする施策として、メタバースという仮想空間をこれから利用していきます。常に西川町の情報を受け取れるようにするためのものです。



▶ONSENガストロノミー



※質問者の動画が見られます。



後藤 一夫 議員

# コロナ禍の中、黒字決算

第2回定例会で説明を受けた第3セクター2社の経営状況報告の内容を紹介します。

## 第31期 西川町総合開発株式会社

### 報告の概要

昨年3月のコロナの規制緩和後は、来店客増に加え観光地も順調に回復してきたことから、ビールなどの売上も増加し業況が緩やかながら回復してきました。売上高は、改修工事で休業した水沢温泉館・売店事業で減少しましたが、他の全部門で増加となりました。

前期と比較して総資産は2130万円増加し、負債は1060万円減少しました。12月末に資本金を減額して、2780万円を繰越損金の解消にあて、前期末に1000万円の増資を受

売上高	4億5005万378円	(前期比 +2509万7866円)
営業利益	1767万7342円	(前期比 +465万2308円)
経常利益	2602万382円	(前期比 +548万8820円)
当期純利益	2205万9108円	(前期比 +782万7135円)

資本金	7500万円	(町持株61.91%)
総資産	1億5773万8398円	(前期比 +2136万9083円)
負債	5349万5732円	(前期比 -1069万25円)
純資産合計	1億424万2666円	(前期比 +3205万9108円)
利益剰余金	2205万9108円	

### 議会から

「コロナ禍の中、六期連続での黒字決算、そして創業以来初めての配当を行なったことは高く評価します。各部門とも、地域商社としてのビジネスを展開していただきたいと思いを。」

けたことで純資産合計は1億420万円となりました。増益増収により、創業以来初めての配当を行いました。1株当たり4500円で総額990万円、西川町には652万円余りの配当があり歳入に計上しました。

## 第16期 株式会社米月山

### 報告の概要

国内の様々な食品価格が、エネルギー価格の上昇などによる流通諸経費の高騰、円安などによる輸入農産の原材料価格の高騰などから、値上げラッシュとなっているなかで、米の販売価格については、ほぼ国内生産のみで供給可能なことから、販売価格が下落しております。

当期の取扱い実績については、玄米、精米数量で554t(前期比102%)、金額で5765万1000円(前期比100%)と、取扱数量、金額とも前年度とほぼ同数の実績となりました。

発芽胚芽米関係商品について

売上高	5765万553円	(前期比 +7万2815円)
営業利益	-341万7355円	(前期比 -60万9089円)
経常利益	362万9437円	(前期比 -15万615円)
当期純利益	264万337円	(前期比 -14万2951円)

資本金	2000万円	(町持株50%)
総資産	3196万130円	(前期比 +338万4939円)
負債	619万2167円	(前期比 +74万4602円)
純資産合計	2576万7963円	(前期比 +264万337円)
利益剰余金	576万7963円	

### 議会から

「コロナ禍にありながら、令和4年度も黒字決算となったことに対し敬意を表します。今後は、発芽胚芽米の販売をいかに伸ばしていくかが課題であると思われ。」

ては、取扱い数量で18t848kg(前期比90%)売上金額で779万6000円(前期比95%)となりました。

以上のとおり事業展開した結果、経常利益は、362万9437円の黒字となり、税引き後の繰越利益剰余金は、576万7963円の黒字決算となりました。

## これまでの実績をふまえた 中間的な展望は

### 町 関係人口及び連携企業を増やしたい



古澤 俊一 議員



※質問者の動画が見られます。

コロナ禍以前の状況への復帰のため、数々の事業を行なっている中で、質問をします。

### 外部の方々の活用と連携

**問** 地域おこし協力隊、ふるさと納税・企業版ふるさと納税、連携企業等が増えてきていますが、数と特徴はどうなっていますか。

**答** 地域おこし協力隊は12人・地域活性化起業者は5人です。2つの寄附額は以前より7700万円多く連携企業数は21社です。特徴は、必ず一つの事業を共同で行っています。

**問** 今年の地域おこし協力隊員や、提携される企業数はいくらか見込んでいますか。

**答** 地域おこし協力隊は全体で20人を目指し、今年の予定は8人で、すでに申込みがあり、面接を行う予定です。また、株式会社モン

ベル主催の地域サミットの開催があり、包括連携協定を結ぶ予定もあり、具現化していきたいです。

### 情報の集積は

**問** 多くの外部の方々との繋がりがある根底には、多岐にわたるネットワークがあると思えます。どのように構築されたのですか。

**答** 前職の時代に土日以上の仲間、社団法人「ちいきん会」を作りました。その仲間との繋がりをもち、西川町に合う情報や、ネットワークで広がりを作り、リスクもありませんが他で進めていない西川町に合うものしるいことに挑戦します。

ターゲットは、富裕層や若者に当てています。

## 高齢化における 地域維持への対応は

### 町 丁寧な対話会を開催する

人口減少や高齢化で、山林を維持することが大変です。このことについて質問します。

### じよせつたび

**問** 新たな事業で高評価のじよせつたびインターン生の活用は、将来への継続事業にできませんか。

また、集落支援活用の募集状況はどうなっていますか。

**答** インターン生の活用のため、634人分の補正予算を上げ、新たに夏季において5人の方が農業体験中で、秋には公園の草刈等も予定しています。また、高評価のじよせつたびインターン生

も多くの方を活用する予定としています。集落支援員は地域の求めに応じ、手を挙げた区に対し応援します。

### 町有林野貸付料

**問** 世帯の少ない区において貸付料金が重くのしかかっています。貸付料金を見直す考えはありませんか。

**答** 特に大変なのは西部地区と推測しますが、要望がきていません。苦労されている区や区長さんとの丁寧な議論が必要であり、この問題に対して年一回以上KPIの目標に挙げているので対話会を開催します。

## 議会の動き

### 議会全員協議会

- 5月8日 初議会の議事日程ほか
- 6月5日 第3セクター経営状況説明ほか
- 6月9日 常任委員会合同行政視察ほか
- 6月16日 新規課準備説明ほか
- 6月22日 議会全員協議会について

### 議会運営委員会

- 5月26日 令和5年第2回定例会の協議
- 6月5日 令和5年第2回定例会の運営

### 総務厚生常任委員会

- 6月6日 行政評価項目検討

### 産業建設常任委員会

- 6月6日 請願審査、行政評価項目検討

### 広報公聴常任委員会

- 6月6日 議会だより125号編集会議
- 6月13日 入稿前編集会議
- 6月16日 第1回校正
- 6月21日 第2回校正
- 6月29日 第3回校正
- 7月5日 第4回校正、校了



### 議会の傍聴にお越しく下さい

面倒な手続きは何もありません。ぜひお気軽に！  
**次期定例会は9月です**  
 (9月1日からの予定)

議場で行う本会議や特別委員会はインターネットで中継しているほか、過去の映像を視聴することもできます。ぜひご覧ください。



表彰を受けた阿部富雄さん

## 旭日単光章を受ける

令和5年春の叙勲で、阿部富雄さん(吉川)が「旭日単光章」を受賞されました。阿部さんは平成12年3月に町監査委員に選任、町の財務や事務事業の調査に尽力されました。また、町村監査委員協議会の村山地方監査委員長や全国理事山形県会長や全国理事を歴任されました。

## 新人議員の紹介

4月に執行された町議会議員選挙により、無投票で新たに議員となった佐藤大議員と飯野幹夫議員をご紹介します。

佐藤大議員は沼沢地区にお住まいの66歳、飯野幹夫議員は沼山地区にお住まいの68歳です。



飯野 幹夫 議員



佐藤 大 議員

## 特集

# 「新議会」に望む

4月に行われた町議会議員選挙後初の臨時会が5月に開かれ、議会の新たな構成が決まりました。また、6月には新たな構成となって初の定例会も開かれました。コロナ禍が収束を迎えようというこのときに誕生した新「西川町議会」では、町民の方々10人にインタビューし、議会や議員へのご意見やご要望を伺ってまいりましたので、ご紹介いたします。



伊藤 信子さん  
(吉川)

活気あるまちづくりを続けてほしい。



伊藤 健さん  
(吉川)

地域を知り、歴史を学び、郷土愛を育むまちづくり。



田井 博治さん  
(間沢)

三山電車修復の実現に向けて、ご理解とご協力を。



布施 範行さん  
(本道寺)

雪対策をはじめ、高齢者へのご配慮をお願いします。



大泉 晃子さん  
(入間)

子どもたちが住んでよかったと思える楽しい町になってほしい。



荒木 咲子さん  
(沼の平)

子どもたちの声が聞きたい。たくさんの方が訪れる町にしてほしい。



飯野 賢一さん  
(小沼)

活気ある議会・行政に期待しています。



荒木 賢一さん  
(沼山)

地区から16年ぶりの議員誕生、頑張ってください。

皆さまの声をお聞かせください!!



佐藤 順子さん  
(海味)

魅力あふれた持続可能な町に!! 町民との対話に期待。



菊地 義隆さん  
(海味)

議員の皆さん、町民との会話いっぱいお願いします。

# 知りたい!! 聞きたい!!

## ～議会だより124号のアンケートより～ 読者モニターの広場

西川町議会だより読者モニターの皆さまからたくさんのご意見などが寄せられました。その中のいくつかを広報公聴常任委員からの回答とともに紹介します。



Y.Yさん

傍聴者とYouTubeでの視聴者の数がわかって良いです。がんばってください。



M.Aさん

ありがとうございます。今年度からYouTubeでの中継に変更しまして、瞬時に視聴者数が増えるようになったのと、議会があったその日のうちにすぐに見られるようになりました！非常に高評価をいただいております！よろしくお願いいたします。

若者が学校などを卒業後、西川町へ戻ってきたくなるようなサポートは必要です。教育ローン返済補助制度はありがたいですね。子育て世代への施策も魅力的なのでもっとアピールしてもいいと思います。

教育ローン「帰ってきてけローン」は非常に魅力的な施策だと思います。大学全入時代と言われる現代において、町に帰ってくるなどの条件が合えば返済義務が免除されるという破格の待遇を受けられます。今町内にお住いの方々はもちろん、西川町への移住を考えているといった潜在的な町民の方々に向けた広報も必要ですね。

ご感想をお寄せください

西川町議会では10名の町民の皆さまに議会だよりの読者モニターをお願いしています。アンケートにより寄せられたご質問やご意見には、きちんとお答えするよう心がけています。読者モニター以外の方でも、議会や議会だよりについて「知りたい！聞きたい！」という場合は、お気軽にお問い合わせください。

ファクシミリ：74-2601 住所：海味510番地  
メール：giji@town.nishikawa.yamagata.jp



6月12日、西川小学校2年生の沼山・入間楽行がありました。午後に入間に来た時は、沼山のべつき沼での活動で、服がもう泥んこになった子どもも。入間の高取川周辺の用水路でも、子どもたちはカワフナなどをつかまえるのに夢中になっていました。写真は、「3引く1は？」の問いに子どもたちが大きな声で「2！」と叫んだ瞬間です。

表紙から  
1コマ

編集後記

5月に新しい議会が発足し、広報公聴常任委員会も新しくなりました。

「町民に開かれた議会」は、私たちの大きな課題です。

そのための試みとして、議会だよりにできるだけ多くの町民に登場してもらおうと考えています。今号の特集「『新議会』に望む」もその一つです。

町民の皆さんと対話しながら、町政や議会がより身近なものになるよう努力していきます。

カメラをもって、ご意見・ご感想などをお伺いしに上がりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(佐藤 光康)

《発行・編集責任者》

議長 菅野邦比克

《編集委員》

委員長 佐藤 光康

副委員長 飯野 幹夫

委員 荒木 俊夫

委員 後藤 一夫

委員 佐藤 大